

コンビネーション367号

時間の使い方も勝負のうち

函館チェスサークル・インターネット通信

2017年10月13日発行



札幌オータム・チェス大会 8名参加

札幌オータムに山田が優勝

10月8、9日の札幌オータム・チェス大会において山田明弘が優勝でした。少人数でも札幌の強豪が集まった中での優勝、それは素直にうれしかったですし、前回の大会内容が最悪だっただけに心底ほっとしました。

優勝：山田明弘 5.0 準優勝：西森敏之 4.0

第3位：杉本公一、吉井優紀彦 3.0/5ラウンド

持ち時間について

今日の授業は持ち時間について。

函館、札幌では40分と1手ごとに30秒累加、1試合約2時間です。部外者にはもて余す長さに見えるでしょうが、内容のよいゲームを目指すプレイヤーには非常に短い持ち時間です。(ちなみに国際戦では90分+30秒累加が標準)

40分は1手30秒ない感覚、もう実際は早指し感覚でいい。20手目あたりでクロックに20分以上余したい。勝負がつくのはそれ以降が普通で、そのときのために時間を取っておくのが理想です。それなら序盤で考え込むのは自殺行為、すでに相手の術中にはまったようなものです！

金澤さんも言われていましたが、相手の持ち時間より5分差がついたら黄色信号と思ってください。

時間の使い方も勝負のうちです！

早指しのコツ

時間がないからとあわてると、いくら時間が残っていても負けは確実。むずかしいですね。

そこで早指しのコツを伝授します。

- ① 相手の手を見てねらいを考える
- ② 対応する手をと1手、2手だけあげて大丈夫かどうか調べる
- ③ 大丈夫であってもなくても全体を見わたし、もっといい手がないか、他の手をできるだけ多く考える
- ④ 決めた手だけを再度チェックし、駒を動かす

時間がなければ①②で決断し、勝負所と思えばさらに①~④の手順を繰り返します。どうですか？

局面評価は時間をかけなくても

FM山田弘平からのアドバイス。「①ではコマの利きをチェックする、駒の数をかぞえる、ポーンの形を見るなど…。そういう**局面評価は時間をかけなくてもできるように**していききたいものです。」

「その手にかける**時間を決めて考える**とか、**序盤の準備**とか…。他にもありますが、普段からできることは、無駄な時間をかけずに局面が見られるようになること。最初からは無理ですが、そうなるように努力しましょう！」

2. ラウンド 日付 2017/09/29

Bo.	Name	Elo	結果	Name	Elo
1	木村勇成	1123	0-1	渋谷快成	1706
2	小林由佳	1024	0-1	金城康弘	1519
3	工藤星莉	800	0-1	小林澄太	932
4	高橋雅智	900	0-1	山田悠征也	800
5	高橋雅音	944	0-1	肝付颯帆	1155
6	工藤永柊	925	0-1	工藤淑之介	1079
7	肝付朝向	823	0-1	安藤和真	867

3. ラウンド 日付 2017/10/08

Bo.	Name	Elo	結果	Name	Elo
1	金城康弘	1519	0-1	山田明弘	1956
2	小林澄太	932	0-1	渋谷快成	1706
3	安藤和真	867	0-1	金城透弥	1355
4	肝付颯帆	1155	1-0	高橋雅智	900
5	工藤淑之介	1079	0-1	山田悠征也	800
6	金城康弘	1514	1-0	工藤永柊	925
7	勝又海	935	1-0	肝付朝向	823
8	高橋雅音	944	1-0	工藤星莉	800

以上の結果を報告します。反映は10月末。

東京の**ジャパン・オープン11月3日~5日**は山田明弘が運営に参加します。5日だけ1日コースあり。参加してみませんか？

＜函館チェス大会 11月25日、26日＞

チェスのサブリをやった生徒は見せてくださいね！